

信仰のしおり

カトリック麹町聖イグナチオ教会

St. Ignatius Church



はじめに

「信仰のしおり」は、特に新受洗者の皆様がよく疑問に思われる事や、信仰生活の助けになるような事柄を中心に、Q&A でまとめたものです。例えば、「ゆるしの秘跡の受け方がよく分からない」「病者の塗油の秘跡は、いつどこにお願いをすれば受けられるのか?」といった秘跡に関する事から、「引っ越しをしたら、教会に届出はいるのか?」といった事務手続きまで。また、新受洗者の皆様だけではなく、信仰生活を長く過ごす方々も「今更こんなことは聞けない…」と感じる疑問を持つ時も、たまにはあるのではないのでしょうか。または、代父母を引き受けたものの、疑問に思ってもいなかったことを質問されて、困ってしまった…といったことも。日々の生活の中で、このような疑問が浮かんだ時、このしおりに手に取ってみてください。

聖イグナチオ教会の皆様の信仰生活が、より一層豊かになるよう「信仰のしおり」をお役立てくださいますと幸いです。

2013 年 8 月

カトリック麹町 聖イグナチオ教会 広報連絡会



目次

はじめに	1
1. カトリック教会の秘跡	3
洗礼の秘跡	3
堅信の秘跡	4
聖体の秘跡	5
コラム：代父母の役割	5
ゆるしの秘跡（告解）	6
病者の塗油の秘跡	7
婚姻の秘跡	8
叙階の秘跡	8
2. 信徒の信仰生活	9
日々の生活で	9
主日の過ごし方	9
聖体拝領	9
ゆるしの秘跡	10
毎日の祈り	10
四旬節	13
その他	13
コラム：子どものための信仰教育	15
人生の節目で	16
3. 事務手続き	17
4. 教会への献金など	18
付録. ゆるしの秘跡について	20
おわりに	24
参考書籍	24

1. カトリック教会の秘跡

秘跡の恵みとは、神様の恵みの目に見える特別なしるしです。秘跡はキリスト（原秘跡）によって信仰共同体である教会（根本秘跡）を通して与えられます。コリントの教会への第1の手紙「あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です」（12章27節）とあるように、わたしたちの信仰は共同体的なものです。お互いの交わりの中で秘跡は生かされます。キリストとの交わりとともに、共同体のメンバーとの交わりがあってこそ秘跡は生きてくると言えます。そのため、秘跡を通して、個人の信仰が養われるとともに、教会共同体が形づくられています。主日のミサに出てご聖体に与り、信者同士の交流を深めていくのもそのためです。

秘跡には洗礼・堅信・聖体・ゆるし・病者の塗油・結婚・叙階の7つがあります。人生の節目や日々の生活の中で、秘跡を通して与えられる神様の恵みを生かしながら信仰を深めるように努めましょう。

洗礼の秘跡

Q1. 洗礼とは何か、もう一度教えてください。

キリストの福音を生涯の指針・目標として受け入れる決意を公に表明し、神様の子どもとなり、永遠のいのちを受け、それに必要な支えを頂く秘跡です。信仰入門講座などで福音の教えを学んだ後、洗礼を受けることができます。受洗に際し、守護となる聖人を決めて洗礼名（霊名）とし、代父母を決めて申し込みます。洗礼を希望される方は、詳しくは小冊子「講座と集いの案内」をご覧ください。か、教会事務室または講座の担当司祭にご相談ください。なお、洗礼の秘跡は生涯に1度だけ受けることができます。

Q2. 洗礼を子どもにも受けさせたいのですが、どうすればいいですか？

まだ洗礼を受けていない人はすべて、洗礼を受けることができます。ただ、日本の社会ではキリスト教の文化的環境が十分ではありません。子どもが信者として成長するには、親自身が信仰の喜びを持って教会共同体に参加していることがとても大切です。親子でミサに参加し、家庭でも共に祈るようにしましょう。また、教会学校へ通うのも良いでしょう。

当教会では、7歳未満の子どもを対象とした幼児洗礼式を毎年2回、春と秋に行っていますので、教会事務室に早めにご相談ください。それ以外の日時に個別に洗礼を希望される方は、司祭と個別にご相談ください。子どものための信仰教育については、17ページのコラム「子どものための信仰教育」をご覧ください。

Q3. 緊急洗礼とは何ですか？

まだ洗礼を受けていない人が臨終を前にして洗礼を望むなら、また日頃から洗礼を受けたいという意思がわかっているなら、洗礼を受けることができます。また、幼児が死の危険に陥った場合にも、直ちに洗礼を受けることができます。

司祭を呼ぶことが事情によって困難な場合には誰でも洗礼を受けることができます（緊急洗礼）ので、教会事務室または司祭にご連絡をください。

堅信の秘跡

Q4. 堅信の秘跡とは何ですか？

堅信は、洗礼・聖体とともに入信の秘跡のひとつです。洗礼を受けた人は、その信仰をさらに強め信者としての生活に必要な恵みを受けるため、堅信の秘跡を受ける必要があります。また、堅信が洗礼と切り離して行われるときは、司教によって堅信の秘跡が授けられます。すでに洗礼を受けている人は一度だけ、堅信の秘跡を受けることができます。また、堅信の秘跡を受けることで一人前のキリスト者として認められ、代父・代母となる資格が生じます。

当教会では、聖霊降臨の祝日の頃に堅信式が行われます。受洗後3年未満の方には堅信式と堅信準備会のお知らせが郵送で届きますので、必要事項を記入の上、教会事務室に申し込んでください。堅信の秘跡をまだ受けておらず、堅信式をご希望の方は、司祭、代父母・身近な信者の方、または教会事務室にご相談ください。

堅信の秘跡も、神様から頂ける大切な恵みです。ぜひ積極的に堅信の秘跡を受けましょう。

Q5. プロテスタントからカトリックへかわりました。堅信の秘跡を受ける必要はありますか？

プロテスタントからカトリックへかわられた方は、堅信の秘跡を受ける必要があります。ただし、カトリック教会では正教会と東方典礼教会で授けられた堅信も有効なものであるとみなしているため、これらの教会からカトリックへかわられ、既に堅信を受けられた方は、改めてカトリックの堅信を受ける必要はありません。不明な点は代父母や司祭にご相談ください。

Q6. 堅信を受ける自信がありません。もっと勉強してから受けた方がよいでしょうか。

洗礼志願式で司祭からこのように尋ねられたことを思い出してください。「あなたがたは入信の秘跡、洗礼・堅信・聖体を受けることを心から望みますか?」。堅信は、聖霊降臨の時と同じような聖霊の特別な注ぎが行われ、洗礼の恵みを増大させるものです。安心して神様を信頼して、進んで堅信の秘跡を受けましょう。

聖体の秘跡

Q7. 聖体の秘跡とは何ですか？

パンとぶどう酒がミサ中に司祭のこばによってキリストの体と血に変化する秘跡です。ミサに与り聖体拝領をすることによって私たちはキリストと一致し、キリストとともに神に自ら奉献をします。

ご聖体は原則として1日1回頂くことができます。ただし、既にご聖体を頂いた方が、同じ日に特別なミサ（例えば洗礼式、結婚式、葬儀ミサなど）に参加した時に限り、もう一度ご聖体を頂くことができます。

また、通常、聖体拝領はキリストの体であるパンのみを頂きますが、洗礼式や結婚式など特別な行事の時に、キリストの御血であるぶどう酒を頂くことがあります。いずれにしてもイエス・キリストの御体や御血を直接頂くのにふさわしい態度と気持ちで受けましょう。

Q8. 初聖体を子ども（信者）に受けさせたいのですが、どうすればいいですか？

洗礼を受けた子どもはご聖体について正しい認識が持てる年齢（通常、小学校2～3年生）になると、教会で初聖体拝領の準備をしてもらってから、ご聖体を受けることができます。

当教会では、土曜学校の2年生を1年間かけて準備し、3年生になった年のご復活祭の次の日曜日に皆で初聖体を受けます。日曜学校では2年生の3学期に集中的に準備をしています。詳しくは担当司祭または教会事務室にご相談ください。子どものための信仰教育については、17ページのコラム「子どものための信仰教育」をご覧ください。

column

コラム：代父母の役割

代父母は信徒から選ばれ、志願者の洗礼志願期間中はもとより、秘跡直後の導きの期間中にも疑問や心配の相談相手となり、個人生活、社会生活においてどのように福音の精神を生きるかを示します。代父母は洗礼志願式・洗礼式の日、公に志願者について証言し、入信の秘跡祭儀には志願者に付き添います。受洗後も、洗礼によって受けた生命の成長を見守るのは代父母の務めです。

また代父母は、洗礼志願者の信仰と洗礼の恵みを開花させることについての責任の一端を担い、信仰の旅路を歩むのを助ける務めを担います。代父母となった方は、洗礼志願者と共にミサに与り、良い導き手として共に過ごすように努めましょう。また、代父母は入信の秘跡が終わればその役目も終わりではなく、その後も信仰が育てられ成長していけるように見守り、励まし合うこともとても大切です。

洗礼志願者は、洗礼、堅信、聖体の秘跡を受けるための準備期間中、代父母と共に過ごしてよく祈り、信仰とキリスト者としての生活の手ほどきを受けましょう。分からない事や心配な事があれば、遠慮なく代父母に相談してください。

それぞれが個人として、社会や家庭での大変慌ただしい生活を過ごす中、代父母と志願者（または代子）が共に過ごし祈る時間を持つのはなかなか難しいことです。しかし、日頃からお互いを知り、苦しみや困難にあった時でも話し合い、教会共同体の家族としてそのつながりを大切にしていこうと努めることができればよいのではないかと思います。

ゆるしの秘跡（告解）

Q9. ゆるしの秘跡とは何ですか？

ゆるしの秘跡は、神様の御前で悪かったと思えることを司祭に告白して、神様のゆるしを頂く秘跡です。

この秘跡は、悔い改めの秘跡、和解の秘跡、告白の秘跡、回心の秘跡とも呼ばれます。ふだんは「告解」とも呼ばれています。私たちは洗礼によって与えられたキリストの新しいいのちを生きていますが、人間本性の弱さや罪への傾き(欲望)がなくなったわけではありません。キリストは、罪によってご自分から離れた受洗者の回心のために、ゆるしの秘跡を制定されました。

神様に赦していただきたいと思う事柄があればいつでも、積極的にゆるしの秘跡を受けて神様のもとへ立ち戻らせていただきます。21ページの付録「ゆるしの秘跡について」もご覧ください。

Q10. ゆるしの秘跡で、司祭から具体的な助言を頂くことはできますか。

ゆるしの秘跡の中で、司祭から助言や勧めを頂けることがあります。ゆるしの秘跡は本来「神様との和解の場」であり、司祭からの助言を求める場ではありません。もしも、司祭に信仰生活における相談事をしたり、助言を頂いたりしたいのであれば、司祭に面談を依頼することができますので、教会事務室に面談の申し込みをしてください。

Q11. ゆるしの秘跡の敷居が高い気がして、ゆるしの秘跡を受けに行く勇気がありません。

ゆるしの秘跡は、神様と和解して再び神様との愛の交わりに生きるようにさせていただく機会です。大切なのは、神様への心からのお詫びの姿勢、神様のもとへ立ち返りたいという気持ちだけです。安心して進んでゆるしの秘跡を受けましょう。

また、洗礼を受けられた方は、なるべく早く(忘れないうちに)ゆるしの秘跡を受け、習慣にしてください。

ゆるしの秘跡の受け方や手順、その他心配な事は司祭・代父母や身近な信者に遠慮なくお尋ねください。初めてゆるしの秘跡を受ける際に、司祭に「初めてゆるしの秘跡を受けます」と申し出れば、丁寧に教えていただけます。

Q12. ゆるしの秘跡を受ける前に準備は必要ですか？

大げさな準備は必要ありませんが、少し時間を取って、良心の糾明をすることをお勧めします。

日々の生活の中で頂いた恵みを思い起こし、その一方で私たちが日頃の思いや言葉、行い、怠りによって、神様に対して、隣人に対して、そして自分自身に対して、悲しませたり傷つけたりしたことがなかったか振り返り、ゆるしを頂きたい事柄を簡潔に述べられるように準備しておくといでしょう。

Q13. 特にゆるしの秘跡の必要を感じないので、ゆるしの秘跡に行かなくてもよいですね？

すべての信者は、分別がつく年齢に至った後は少なくとも年1回はゆるしの秘跡を受けるように努めてください。生活の中で感じる様々な罪、つまり「神様から離れてしまったこと」をしばしば告白することは、信仰生活を

向上させるため、また私たちの良心を培う助けとなるため、強くお勧めします。

ゆるしの秘跡は信仰や道徳的・精神的な罪を赦すものであり、刑法上の罪を赦すものではありません。しかし、例えば十戒に反していないかといった視点ではなく、本来の「罪」の意味である「神様から離れたことはなかったか」という視点から、生活を振り返ってみることがとても必要です。

また、ミサの中でも罪を認め、ゆるしを願う祈りがありますが、それだけではゆるしの秘跡にはなりません。ゆるしの秘跡をしばしば受け、神様との和解の恵みを大切にしてくださいと思います。



病者の塗油の秘跡

Q14. 病者の塗油の秘跡とは何ですか？

肉体的、または精神的に大きな危機に際して、神様のみ旨に従う決意を固め、神様の力づけを頂く秘跡です。ですから、臨終のときだけとは限りません。容体がいちじるしく悪化した場合、また生命に危険がおよぶような病気に罹った場合、この秘跡を受けることができます。ただし、病者の塗油の秘跡は、ご利益を求めて何度も受けるものではないことは心に留めておきましょう。

Q15. 病者の塗油の秘跡を受けるにはどうしたらよいですか？

病者の塗油の秘跡を受けたい場合は、速やかに教会事務室にご連絡をください。また、75歳以上の方は、毎年9月に行われる長寿の集いのミサ中に、病者の塗油の秘跡を受けることができます。ぜひ長寿の集いにご参加ください。

Q16. 信者の家族が命にかかわる大きな病気をしています。

病者の塗油の秘跡を勧めた方がよいですか？

病者の塗油の秘跡を受けることをお勧めください。この秘跡は、慰め、平安、勇気、そして病人がゆるしの秘

跡を受けることができなかった場合には罪のゆるしを与えます。特に、治る見込みの少ない病気と分かった時は、この秘跡を受けられるよう配慮してください。

婚姻の秘跡

Q17. 婚姻の秘跡とは何ですか？

信者同士の場合には、結婚する二人を通して三位一体の神様の愛をこの世で示し実現する秘跡です。結婚についてのキリストの教えを学び、二人の心のきずなが神様によって変わらないものとされるために、結婚式は司祭と二人の証人の前で誓いを交わすことにより秘跡は成立します。

婚姻の秘跡は原則として初婚のみ授けられます。再婚で教会での結婚を希望される方は、司祭との面談の後に教会での手続きが必要となりますので、教会事務室へご相談ください。

Q18. 新郎新婦の一方が未信者でも、婚姻の秘跡を受けることができますか？

はじめに、夫婦が結婚の本質的な目的と特性（相互の愛によって結ばれお互いを与え合うこと、子どもを責任持って産み教育すること）の受け入れを拒否しないこと、また、カトリック信者が信仰を守り、子どもの洗礼とカトリックの信仰教育を保証する義務があることを確認し、非カトリック者信側にもそのことを知ってもらうことが必要です。

一方だけが信者の場合は「秘跡」とはなりませんが、二人の結婚を神様の愛に向けて成長させる恵みと祝福を受けることができます。また、非カトリック信者だった方が後に洗礼を受けカトリック信者となると、その時に婚姻は秘跡として成立します。

Q19. 結婚式を挙げたいのですが、どうすればいいですか？

当教会で結婚式を挙げたい方は、挙式の半年～1年前から受け付けています。カトリック教会で結婚式を行うには、一定期間の結婚準備講座に参加する必要がありますので、教会事務室に申し出て、結婚のために必要な面接や準備クラスの日程、条件を確認してください。

叙階の秘跡

Q20. 叙階とは何ですか？

叙階は、キリストから使徒たちにゆだねられた使命を世の終わりまで教会において果たさせ続ける秘跡です。叙階の秘跡によって、秘跡を与える人（司教・司祭・助祭）が創られます。この秘跡は司教によって執行されます。一人でも多くの司祭が召し出されるよう私たち信者もよく祈り努力をしましょう。なお、叙階式のミサに参加することは、通常のミサよりも大きな恵みがあるといわれています。大変感動的な式でもありますので、ぜひご参加ください。

2. 信徒の信仰生活

洗礼を受けてカトリック教会の信者となったものは、教会の教えに従って信仰生活を送るよう努めます。教会には、私たちの信仰生活をより豊かに実りあるものにするために、さまざまな取り決めがあります。また、個人の生活の中で「祈り」「教会の教え（カテキズム・公教要理）・聖書を学ぶ」「奉仕活動」の3つをバランスよく行うようにしましょう。特に、代父母は新受洗者の信仰生活を導くよう配慮をしてください。

■ 日々の生活で

主日の過ごし方

Q21. 主日のミサに毎週行く必要がありますか？

信仰生活においては、キリストとの交わりを大切にすると同時に、共同体のメンバーとの交わりを深めることも大切です。そのため教会は、主日と守るべき祝日にミサに与るように義務づけ、また他の日にもミサに与るように勧めています。主日には、大きな支障がない限りミサ聖祭に与るようにしましょう。やむを得ずミサに与れない時にも熱心に祈り、聖書を読むように努めましょう。また、仕事や家庭の都合などやむを得ない事情がある場合を除き、できるだけ労働を休み心と体の休息を取るように心がけましょう。

Q22. 主日以外に守るべき祝日はありますか？

日本では、主日以外に特に守るべき祝日として、降誕祭（12月25日）と神の母聖マリアの祭日（1月1日）が決められています。ただし、主日と特に守るべきと決められた祝日に限らず、時間がゆるす限りミサにはたびたび与りましょう。

聖体拝領

Q23. ミサでご聖体を受ける必要はありますか？

ぜひご聖体を受けてください。ただし聖体拝領の前にはいくつかあります。まず、何らかの罪を犯していると自覚しているなら、ゆるしの秘跡を受けてご聖体を頂けるように準備をします。また、教会によって規定されている断食を守るようにします。具体的には、聖体拝領の1時間前から水や薬

以外を摂らないようにします。(ただし高齢者、病人、これらの方を看護する人は免除されます)

キリストへの尊敬のしるしとしての身体的な態度、しぐさやみなりなども大切です。例えば、聖堂へ入った際には、聖櫃に一礼することを忘れないようにする、極端に肌を露出するような服装は避ける、聖堂内では私語を慎むなど、祈りの場にふさわしい態度を心がけて聖体拝領をしましょう。

ゆるしの秘跡

Q24. ゆるしの秘跡はどのくらいの頻度で行くものですか？

少なくとも年に1回はゆるしの秘跡を受けるように努めてください。灰の水曜日に「回心して福音を信じなさい」という招きのことばが私たちに向けられることから分かるように、特に四旬節はゆるしの秘跡にもっともふさわしい時期と言えるでしょう。

しかし、何か罪への傾きを感じた時、神様に対して悪いことをしてしまった、離れてしまったと感じた時には、しばしばゆるしの秘跡を受けるように心がけるようにしましょう。ゆるしの秘跡については、「1.カトリック教会の秘跡」の「ゆるしの秘跡」の項をご覧くださいとともに、代父母や身近な信者の方にお尋ねください。

毎日の祈り

Q25. 初金とは何ですか？

毎月最初の金曜日のことを「初金」と呼びます。カトリック教会では17世紀から「初金曜日」の信心をしています。当教会でも、毎月第1金曜日に初金の祈りの集いが行われています。ぜひご参加ください。

また、毎金曜日は償いの日として定められています。キリストの受難を記念し、自発的に食べ物・飲み物などの何かを犠牲にして、その分を献金などで捧げるように心がけましょう。

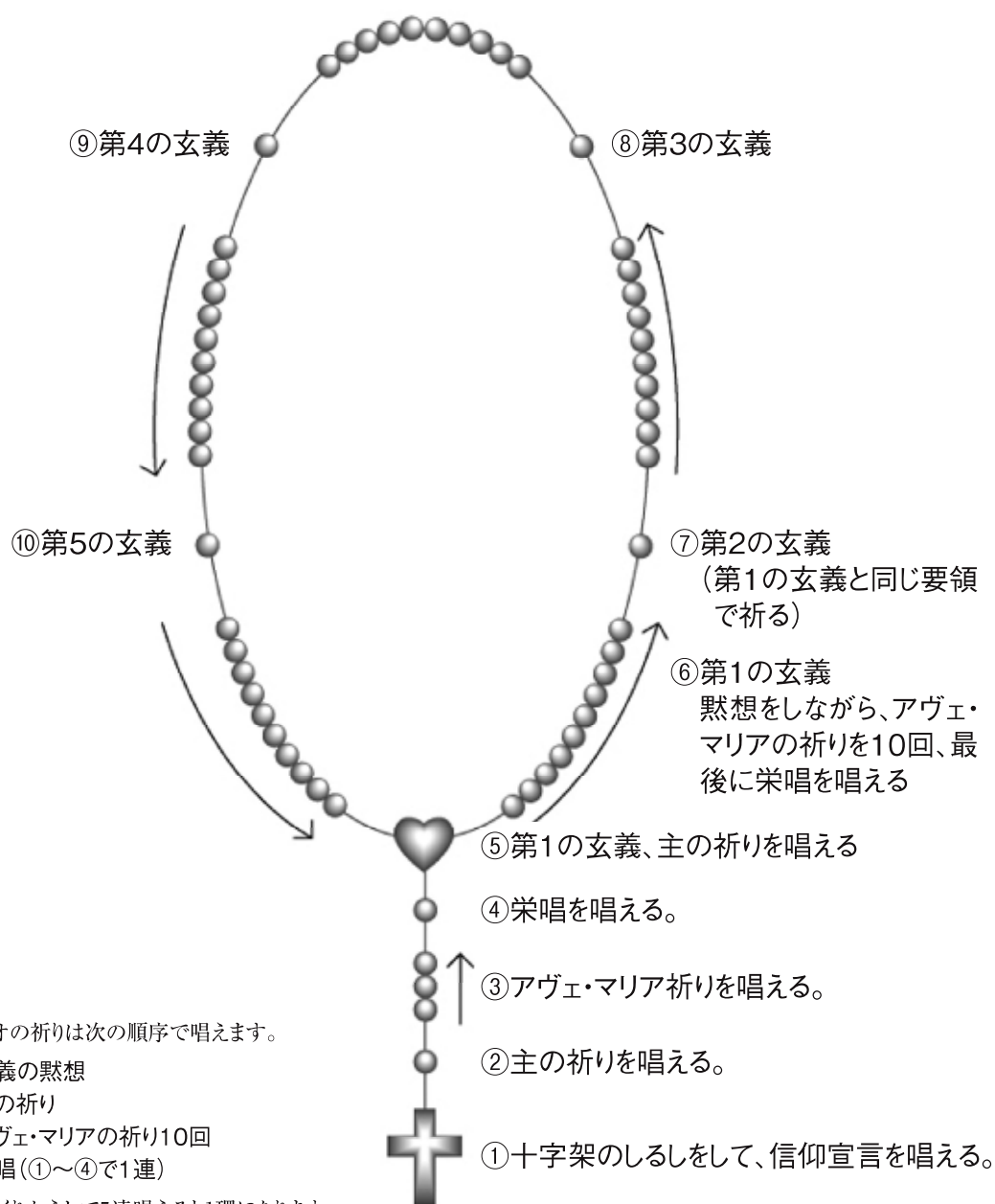
Q26. ロザリオの祈りについて教えてください。

聖母マリアへの崇敬として教会の中で培われてきた祈りです。ロザリオを繰り返しながら、いつでもどこでもできる祈りです。ロザリオとはバラの花冠という意味で、聖母マリアへの祈りを一輪のバラとみなし、信仰の奥義を黙想しながら、霊的花束として聖母に捧げます。

主の祈り1回、アヴェ・マリアの祈り10回・栄唱1回で構成されたものを1連といい、各連に意向を入れて唱え、5連で1環となります。

ロザリオの祈りの集いは当教会でも行われていますので、ぜひご参加ください。また、書籍や御絵入りの小冊子などもたくさん販売されていますので、それらを参考にするのもよいでしょう。図の「ロザリオの唱え方」もご覧ください。

■ ロザリオの唱え方



ロザリオの祈りは次の順序で唱えます。

- ① 玄義の黙想
- ② 主の祈り
- ③ アヴェ・マリアの祈り10回
- ④ 栄唱(①～④で1連)

以上をくりかえして5連唱えると1環になります。
月曜日と木曜日は喜びの玄義、火曜日と金曜日は苦しみの玄義、水曜日と土曜日、日曜日は栄えの玄義を唱えるようになっていますが、典礼に合わせて各玄義を唱えるようにしましょう。終わりはサルヴェ・レジーナなどで締めくくります。

Q27. 死者への祈りとは何をするのですか？

死者のための祈りは、カトリック教会で古くから大切にされている祈りです。地上の旅を終え亡くなられた方たちの霊魂が早く天国に導かれるように、地上に生きる私たちが祈りによって支えます。お葬式だけではなく、日常生活の中でも、先立たれたご家族やご友人を思い出し、その安息を願いましょう。命日にはミサを捧げるようにします。また、死者の日(11月2日)はすべての死者のために祈る日です。死を超えてそのつながりを大切にしましょう。

当教会では、毎月第3水曜日の12時のミサを、「クリプタに安置されその月に命日を迎える方々のためのミサ」として捧げていますので、ぜひご参加ください。

Q28. 聖体訪問とは何ですか？

聖堂内の聖櫃に安置されたご聖体を訪問して、ご聖体におられる主を礼拝し祈ることです。聖櫃のそばにある聖体ランプが点灯していれば、ご聖体が安置されているしるしです。

当教会では7時から19時の間、いつでも聖体訪問ができるように主聖堂を開放しています。

Q29. 聖堂内で注意すべきことはありますか？

入堂の際はご聖体が安置されている聖櫃に向かって一礼をしましょう。聖堂内では他にもお祈りをされている方がいらっしゃいますので、会衆席より前(祭壇前)には入らずベンチで静かに祈りしてください。写真撮影も控えましょう。



四旬節

Q30. だいさい しょうさい 大斎・小斎について詳しく教えてください。

キリストの受難を思い起こし、その犠牲に与るために、灰の水曜日と聖金曜日の2日、大斎・小斎を守ることです。ただし、病気、出産前後、精神的・肉体的な重労働による妨げのある場合は大斎・小斎の義務はありません。各自の体調や事情を踏まえ、無理のない範囲で積極的に行いましょう。

大斎 …… 十分な食事は1日のうち1回だけにする断食。他の2回はわずかの食事が許される。

20歳以上から60歳未満の信者が対象。

小斎 …… 鳥獣の肉を控えること。14歳以上の信者が対象。

Q31. 十字架の道行とは何ですか？

十字架の道行は、キリストのご受難・ご死去をしのび、信仰の形として教会で古くから行われてきた祈りです。キリストが死刑の宣告を受けられてから十字架上で亡くなられ埋葬されるまでの経過を14枚の絵やしるしで表現した額や十字架(留)が聖堂などに掲げてあります。十字架の道行は、この14の留の前でキリストのご受難とご死去を黙想しながら移動して祈ります。大勢で移動が困難なときは、先唱者だけ移動します。また現在では最後にキリストの復活も加えて15留とした十字架の道行もあります。

当教会では、四旬節の毎金曜日に、18時のミサ終了後に十字架の道行が行われますので、積極的にご参加ください。

その他

Q32. 教会の奉仕活動グループに入った方がよいですか？

洗礼を受けキリストに結ばれた私たちは、自分一人で生きているのではなく、教会の交わりの中で生きるものとされました。神様から頂いた恵みに感謝するため、教会の活動に尊敬と愛をもって奉仕することは信者の大切な務めです。

当教会にはたくさんの活動グループがあります。また、教会バザーや教会祭、クリスマスミサの奉仕など、季節ごとに個人の奉仕者を募集していることもあります。各自の生活に無理のない範囲で、教会の奉仕活動には積極的に参加しましょう。

Q33. 教会に知り合いや友達がまだいません。仲間づくりの機会がありますか？

信徒の交流の機会はいくつもありますので、ぜひご都合のよろしい時にご参加ください。それぞれ詳しくは、教会報や教会内の掲示版、チラシなどをご覧ください。

- ・水曜ティーサロン(毎月第2・3・4水曜日12時ミサ終了後、テレジアホール)
- ・ヨセフホールでも“メリエンダ”(毎月第2・4日曜日10時ミサ終了後、ヨセフホール *教会行事と重なる場合はお休みとなります)
- ・個人奉仕(教会バザー、教会祭、クリスマスイブなどの奉仕者を随時募集しています)

Q34. 教会暦とは何ですか？

カトリック教会のカレンダーです。教会暦または典礼暦と呼びます。教会暦はご復活祭・降誕祭を中心として、待降節から1年が始まり、王であるキリストの祭日で終わります。教会暦には、特定の日や季節に祭日や祝日・記念日などが決められており、1年をかけてキリストの生涯と救いのわざを思い起こし記念します。

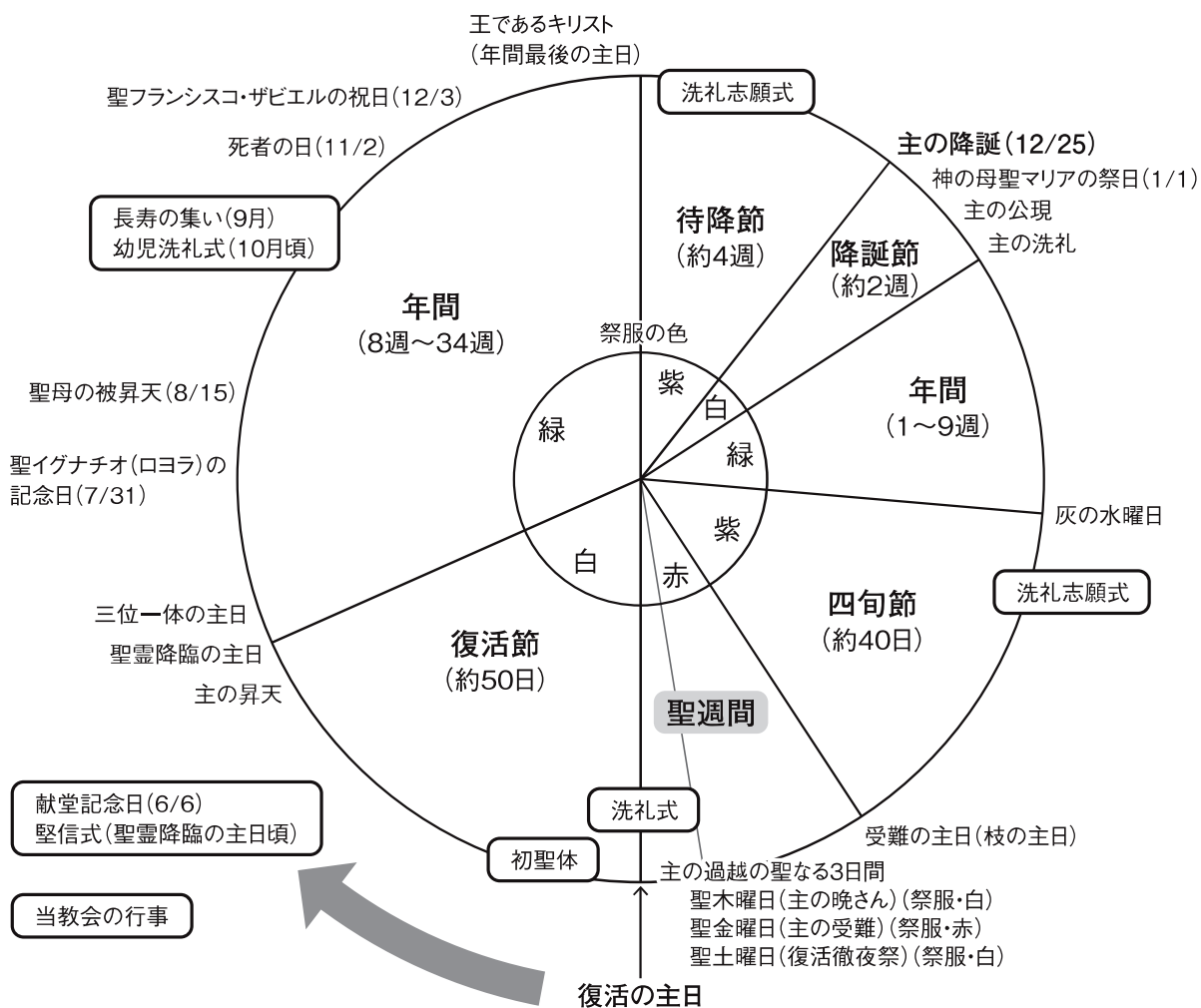


図 教会暦と当教会の行事

column

コラム：子どものための信仰教育

両親は子どもたちにとって、教育の第一の責任者であるとともに、信仰を告げ知らせる最初の人です。両親は子どもを神様の子どもとして愛し、尊敬する義務があります。適切な教育や忠告をもって、子どもたちが成長するために必要な環境を物質的・精神的に整えなければならないのはもちろんのこと、特に、親は子どもに対してキリスト教的信仰教育を施す使命を持っています。

そのためには、信仰を育てる模範として、親自身が手本を示し、一緒に祈ることがとても大切です。また、子どもがだんだん大きくなると、信仰についていろいろな質問をしてくると思います。その時はいつでも答えられるように良い導き手となってください。

● 受洗の時期…

信者である親は自分の子どもが洗礼の恵みを受けることができるように配慮してください。幼児洗礼はぜひお受けになることをお勧めします。しかし、両親のうち一方のみが信者であるご家庭も多いと思います。その際は夫婦でよく話し合って決めるようにしてください。

● 教会学校…

子どもへの信仰教育の中心は家庭です。教会学校は子どもへの信仰教育のお手伝いをすることで、土曜学校・日曜学校などの会があります。神様やイエス様のことを子どもにも分かりやすく教えています。季節ごとにキャンプやクリスマス会、遠足など多くのイベントも用意されています。

当教会では、下記の子どもの集いが行われています。子どもたちにとって、友達とのつながりや思いやりの心、神様への愛が育まれ、成長できる実りある時間になると思いますので、ぜひ子どもたちを教会学校に参加させていただければと思います。

日曜学校（対象：満4歳～小学校6年生、信者・未信者問わず）

土曜学校（対象：小学校1年生～6年生、信者・未信者問わず）

中学生会（対象：中学生、信者・未信者問わず）

高校生会（対象：15歳～17歳、信者・未信者問わず）

● 初聖体の時期 …

洗礼を受けた子どもはご聖体について正しい認識が持てる年齢（通常、小学校2～3年生）になると、教会で初聖体拝領の準備をしてもらってから、ご聖体を受けることができます。家庭でも一緒に祈り、初聖体の準備をするようにしてください。また、初聖体についてはQ7もご覧ください。

■ 人生の節目で

Q35. 大きな病気に罹ってしまいました。何か特別にすることはありますか？

病気やけが、老齢のために死の危険に臨むような場合には、ぜひ病者の塗油の秘跡を受けて、神様の力づけを頂くようにしてください。病者の塗油の秘跡を受けたい方は、教会事務室にご連絡をください。

Q36. 病気や家庭の都合でやむを得ず、長期間教会に行けなくなってしまいました。どうすればいいですか？

長い人生の間には、病気や老齢、または家族の介護などのためにどうしても教会にいらっしゃることが難しい時期があると思います。当教会では、長期にわたり教会へいらっしゃれない方のために以下のように信仰生活の支援をしていますので、ご希望の方は教会事務室にご連絡をください。

- ◇ 教会報(MAGIS)の発送 ◇ お電話でのご連絡
- ◇ 教会報の録音テープの発送 ◇ ご聖体のお届け
- ◇ ご自宅訪問

Q37. 教会でお葬式を行いたいのですが。

信者が亡くなった際は直ちに教会事務室に連絡をして、通夜・葬儀の日時を決めるようにしてください。当教会では、カトリック教会の葬儀に精通した葬儀社をご紹介します。また、家族がカトリック信者でない方は、あらかじめ教会でお葬式を希望している旨や教会の連絡先を家族に伝えておくようにしてください。

葬儀については教会事務室に資料がありますので、詳しくは教会事務室にお問い合わせください。また、葬儀社との交渉は原則的に遺族の方々が直接話し合っただけで決めるようにしてください。特に費用については後から誤解などトラブルが起こらないように注意しましょう。(葬儀社への支払いと教会および司祭への献金は別になっています)

Q38. クリプタとはなんですか？

地下納骨堂のことです。主聖堂の地下にあります。クリプタ利用の申し込みや相談は教会事務室にご相談ください。

Q39. 追悼ミサ・意向ミサとは何ですか？

追悼ミサは故人の冥福を祈って捧げいただくミサです。意向ミサはある重大なことについて特別に神様のご加護を祈り求めるために捧げいただくミサで、例えば平日のミサ中に死者のために祈って頂くことや、何か特別な記念日に祈って頂くことです。追悼ミサ・意向ミサをご希望の方は、ミサ献金を添えて教会事務室に希望日時を申し出てください。

なお、追悼ミサ・意向ミサ共にミサ献金の決められた金額はありませんので、各自の事情を踏まえながら応分の金額を納めてください。

3. 事務手続き

引っ越しや結婚など環境の変化があった際、教会に届け出をしなければならぬ事柄がいくつかあります。分からないことがあるときは、教会事務室に相談の上、必要な手続きを忘れずにしましょう。

Q40. イグナチオ教会の聖堂へはいつ行ってもお祈りすることができますか？

主聖堂は朝7時前から開いています。ミサの時間以外にはいつでも個人でお祈りすることができます。夜は18時のミサが終了してから30分後頃に閉まります。他の聖堂はそれぞれ空いている時間が決まっています。詳細は教会事務室にてお尋ねください。なお、地下のクリプタは9時から16時まで開いています。

Q41. 教会事務室はいつ開いていますか？

平日は朝9時から19時までです。日曜日や特別な祝日は朝8時から開いています。この時間内に手続きなどを済ませてください。夜間(19時～20時30分)は、教会事務室には警備の方がいらっしゃいます。教会施設の鍵返却などはこの時間でも可能ですが、事務手続きはできません。教会全体の施錠時間は21時です。

Q42. 住所が変更になった場合はどうしたらよいでしょうか？

カトリックの信者は、教会(小教区)に所属している必要があります。引っ越しなどによって、イグナチオ教会から他の教会に教籍(所属する教会の籍)を移す時は、かならず転籍の手続きを行ってください。当教会事務室で「転出証明書」を受け取り、転出先の教会で「転入手続き」を速やかに行ってください。当教会への転入の時も同様です。

Q43. その他届けを出す必要があるのはどのような場合でしょうか？

結婚・出産(幼児洗礼希望の時)・死亡・長期不在・海外移住などの時です。

4. 教会への献金など

教会は共同体であり、お互いに分かち合い支えあうことが大切です。教会の活動も私たち信徒の献金で支えられています。また、献金には犠牲を捧げる意味も含まれています。この章では、教会の大きな献金の目的などについてご紹介をします。各自の事情を踏まえながら、無理のない範囲で献金をするようにしましょう。

Q44. 教会維持費とはどういうものでしょうか？

教会維持費(月定献金とも言います)は、文字通り、教会の維持や管理に使われます。毎月教会に納める献金です。

Q45. 教会維持費(月定献金)の額はどれくらい納めればよいのでしょうか？

決められた金額はありませんので、各自の事情を踏まえながら自由意思でお決めください。例えば東京教区の指針で収入の2～3%程度という目安があります。

Q46. 年齢は何歳から献金しなければいけないのでしょうか？

一般に収入を得ている人という意味です。でもお子様が自由意思で月々もらうお小遣いの中から少額でも献金するのは、とても好ましいことに思えます。

Q47. その他にどんな献金がありますか？

ミサの中で籠に入れるミサ献金や復活祭・降誕祭などの大きな行事の時の大祝日献金があります。大祝日献金は通常のミサ献金よりもう少し寛大に献金をします。

Q48. バザーなどの頒布金はどの様に使われるのでしょうか？

バザーの収益(頒布金)などは、あらかじめ献金の用途を明示して、その目的に使われます(教会報MAGISや教会内のポスターなどでお知らせします)。例えば、大きな天災に遭った人々や困難な状況にある人々などが対象になることが多いと思います。

Q49. 洗礼・堅信・結婚・葬儀などの時、司式をしてくださった神父様へのお礼はどの様にしたらよいのでしょうか？

当教会を司牧してくださっているイエズス会の神父様(修道会司祭)は私有財産を持たないので、お礼という形で最終的には教会への献金となります。その金額についても、教会事務室のアドバイスを受けてください。

Q50. 一粒会献金とは何でしょうか？

一粒会は司祭の召し出しを祈り、神学生の生活費を賄うための献金を集める団体です。東京教区では東京教区大司教が会長で、全ての信者が会員となっています。明日を担う聖職者を育成するのが一粒会献金です。

Q51. 結婚式や葬儀などで教会の施設を使用した場合の献金はどれくらいでしょうか。

結婚や葬儀で聖堂を使用した場合には応分の献金をします。その金額については、事務室にお問合わせください。

Q52. 教会施設(ヨセフホール・テレジアホール・信徒会館など)を使用した場合にはどうなりますか。

その目的が、教会の活動グループの集会、講演会などは無料です。ただし同じカトリックのグループでも、当教会以外の方々が主催する場合には、応分の献金をお願いしています。



付録．ゆるしの秘跡について

1. ゆるしの秘跡を受ける時間と場所（告解室）

・ゆるしの秘跡の時間…

主日：主日のミサ（8時半、10時、12時、13時半、18時15分）の間

平日：月曜日から金曜日の17時～18時半、土曜日の14時～15時、17時半～18時15分

※ただし、クリスマスイブと聖週間はゆるしの秘跡の時間が変わりますので、教会の掲示板や案内を確認してください。

・告解室の場所…

主聖堂の後方左右に告解室があります。

パイプ椅子が並べてありますので、並んで椅子に座って順番を待ってください。

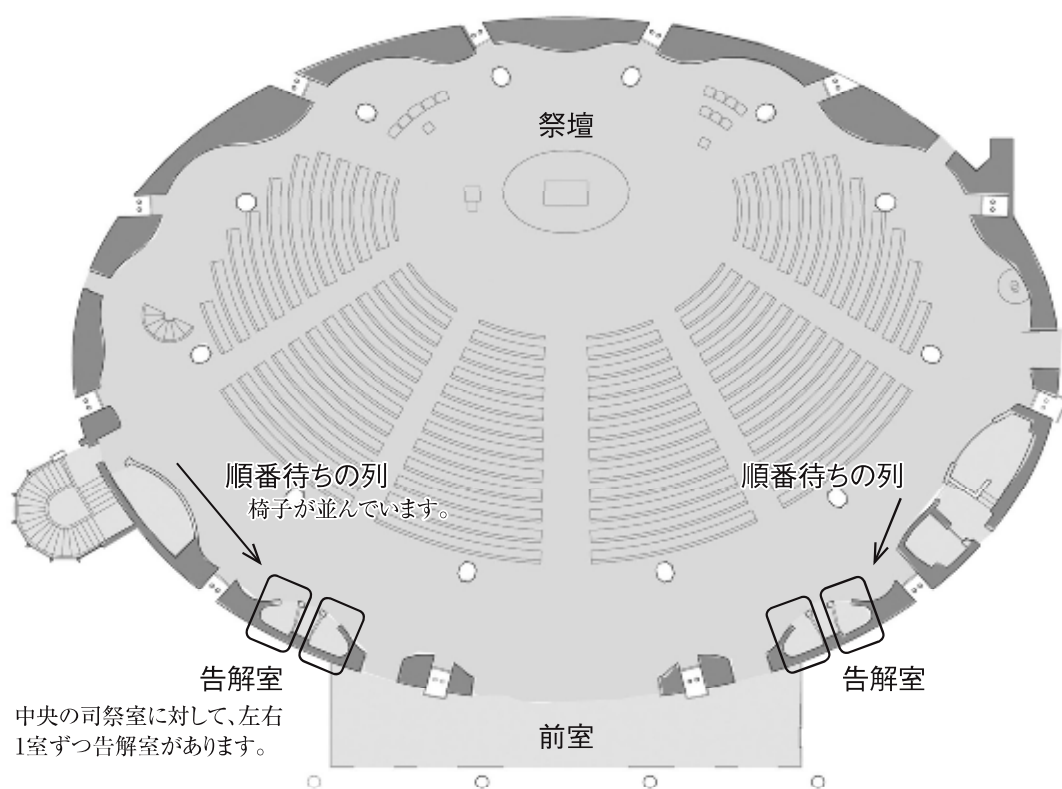


図1 主聖堂内の告解室の位置

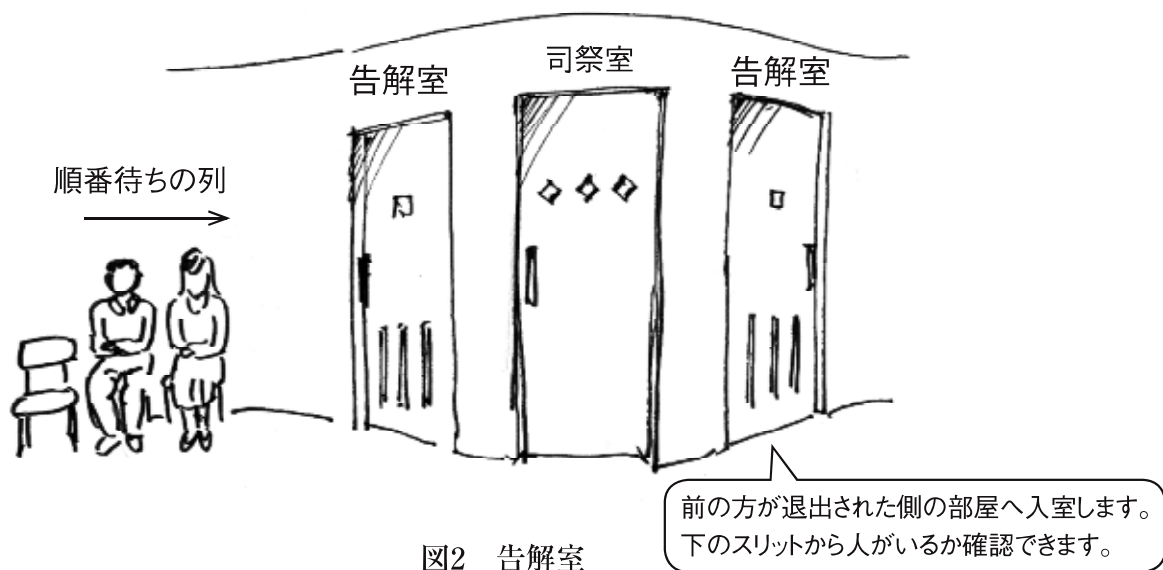


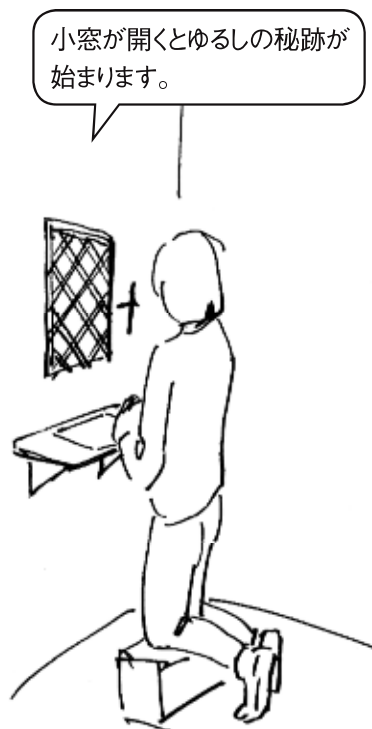
図2 告解室

2. ゆるしの秘跡の受け方と式次第

告解室に入ると、小さな椅子とひざまずき台があります。当教会の告解室は、一人の司祭に対して左右2つの告解室が並んでいて、司祭は左右交互にゆるしの秘跡を授けています。告解室に入室して、すぐにひざまずき台前の小窓が開かなければ、向かい側の方のゆるしの秘跡が行われていますので、静かに順番を待ちましょう。なお、人とお話するふだんの声量で話す分には向かいの告解室に声は届きません。

小窓が開くと、ゆるしの秘跡が始まります。ひざまずき台にひざまずき、司祭にしたがってゆるしの秘跡を受けてください。(足の不調のためひざまずくことができない場合は、椅子に座ったままでも構いません)

ゆるしの秘跡がはじめての方は、その旨を司祭にお伝えすれば、手ほどきをさせていただきますので安心してください。



ゆるしの秘跡（個別の式）式次第

<はじめに>

司祭・信者 | 父と子と聖霊のみ名によって。アーメン

司祭は次のような言葉で神への信頼を促します。

司祭 | 回心と呼びかけておられる神の声に心を開いてください。

<罪の告白と償いの指示>

司祭は次のような言葉で罪の告白を勧めます。

司祭 | 神のいつくしみに信頼して、あなたの罪を告白してください。

ゆるしを求める信者は罪を告白します。司祭の理解を助けるために必要であれば、自分の身分や最後にした告白の時期などを告げます。司祭は正しく告白できるように助けteますが、告白をする信者もゆるしを求める罪を簡潔に明確に伝えるように心がけてください。

告白の終わりを次のことばで締めくくります。

信者 | きょうまでの主な罪を告白しました。ゆるしをお願いいたします。

信者の告白の後、司祭は必要があれば助言を与え、罪を悔い改めるように勧めます。続いて司祭は、罪の償いと生活の改善のために償いのわざを指示します。

<悔い改めの祈り>

司祭は次のような言葉で、悔い改めの心を表すように招きます。

司祭 | それでは、神のゆるしを求め、心から悔い改めの祈りを唱えてください。

ゆるしを求める人は次のような祈りを唱えます。(祈りの文は告解室のひざまずき台の机に置いてあります)

信者 | 神よ、いつくしみ深くわたしを顧み、豊かなあわれみによって、
わたしのとがをゆるしてください。
悪に染まったわたしを洗い、罪深いわたしを清めてください。

<罪のゆるし>

続いて司祭は、ゆるしを求める人の上に手をのべて、罪のゆるしを与えます。

司祭 | 全能の神、あわれみ深い父は、御子キリストの死と復活によって
世をご自分に立ち返らせ罪のゆるしのために聖霊を注がれました。
神が教会の奉仕の務めを通して、あなたにゆるしと平和を与えてくださいますように。
わたしは、父と子と聖霊のみ名によって、あなたの罪をゆるします。

信者 | アーメン。

<終わりに>

ゆるしの後、司祭は次のようなことばで神を賛美し、ゆるしを受けた人は辞去します。

司祭 | 神に立ち返り、罪をゆるされた人は幸せです。ご安心ください。

ゆるしの秘跡が終わり告解室を出た後は、神に感謝の祈りをささげ、指示された償いを果たして、より熱心に信仰生活を歩むように努めましょう。

(お祈りでの償いを指示されたなら、そのまま主聖堂のベンチで償いのお祈りをするとよいでしょう)

おわりに

小冊子「信仰のしおり」では、信仰生活をはじめたばかりの方々に助けとなりそうな、簡単な事柄についてまとめました。そのため、教会の教え（カテキズム・公教要理）や神学の難しい話題には踏み込んでいません。日々の生活において「祈ること」「教会の教え・聖書を学ぶこと」「奉仕活動」をバランスよく実践して、信仰を深めていけるように、教会では様々な機会を設けています。下記にいくつかご紹介をいたします。開催日程は教会内に掲示されるポスターや配布チラシをご覧ください。

- ・新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座
 - …特に受洗後3年以内の方へご案内をしています。もちろん受洗後3年経過した方も参加できます。
- ・信徒養成講座
 - …小冊子「講座と集い」（紫色の冊子）をご参照ください。
- ・教会内で行われるセミナーなど
 - …1年を通して、いろいろなセミナーや講話が開かれます。
- ・教会黙想会
 - …四旬節中と秋に1日教会黙想会が行われます。共同体全体で心をあわせて祈る黙想会にもご参加ください。
- ・奉仕活動
 - …奉仕活動を通して、信仰を共にする友人を作ることも信仰生活には必要なことの一つです。各自の生活に合わせて、ご参加ください。

各自の信仰を深め、また皆で励まし合いながら聖イグナチオ教会の共同体の信仰も一層深めていけたら幸いです。

なお、本冊子の準備にあたっては主任司祭をはじめ神父様、修道者の皆様にご協力を頂きましたことを感謝いたします。

参考書籍

- ・『カトリック教会のカテキズム要約（コンベンディウム）』（カトリック中央協議会、2010）
- ・『カトリック新教会法典』（日本カトリック司教協議会 教会行政法制委員会 訳、有斐閣、1992）
- ・『カトリック儀式書 ミサ以外の時の聖体拝領と聖体礼拝 改訂版』（カトリック典礼委員会編、カトリック中央協議会、2007）
- ・『カトリック儀式書 結婚式』（日本カトリック典礼委員会編、カトリック中央協議会、1996）
- ・『カトリック儀式書 ゆるしの秘跡』（典礼司教委員会編、カトリック中央協議会、1978）
- ・『ゆるしの秘跡—個別のゆるしの式』（典礼司教委員会編、カトリック中央協議会、1978）
- ・『カトリックの信仰生活がわかる本』（景山あき子他共著、女子パウロ会、1999）
- ・『ロザリオ』（バリオスエボ著、中央出版社、1983）



場 所

〒102-0083 東京都千代田区麹町6丁目5番1号

連絡先

TEL. 03-3263-4584 FAX. 03-3263-4585